平和を祈念する日事業

平和祈念week2026

※絵：令和7年度ピースメッセージ絵画コンクール「オリーブ」部門入賞作品

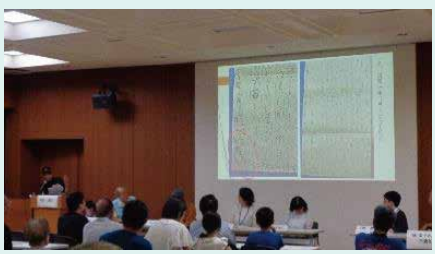
2026.8.8(土)▶16(日) 入館・参加無料

※10日(月)は休館日

みる

体験する

つなぐ



※画像はイメージです。 イベント詳細は中面以降をご覧ください

滋賀県平和祈念館

〒527-0157
滋賀県東近江市下中野町４３１番地
TEL 0749-46-0300
Mail heiwa@pref.shiga.lg.jp

滋賀県平和祈念館
ホームページ

期間中のプログラム

8/8(土)

※会場は、愛東コミュニティセンター　大ホールです。
（当館と同敷地内　※位置:右図参照）

●映画「長崎−閃光の影で−」上映会

10:00～12:00 ※事前予約制（定員100名）

＜あらすじ＞

1945年、原爆投下直後の長崎で、若き看護学生たちが命を救おうと奔走していた一日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で一原爆被爆者救護赤十字看護婦の手記一」を原案に、当時看護学生だった少女たちの視点から原爆投下という悲劇を描いた感動作。滋賀県内各地で撮影されたことでも話題になった。

（2025年、監督：松本准平、キャスト：菊池日菜子・小野花梨・川床明日香ほか）

※愛東コミュニティセンター位置図

●平和祈念セレモニー

13:00～16:00

＜スケジュール＞

13:00～ 開会（ O.P.アトラクション（八日市児童合唱「スマッシュ」ミニコンサート））

14:00～ 被爆体験者講話「長崎に落とされた原爆」
（講師：大村信代さん（草津市））

15:00～ 被爆クスノキ二世苗木植樹式典
- 平和メッセージ・平和祈念ピアノ演奏
（立命館守山高等学校3年　北所千咲さん）
- 苗木贈呈・植樹作業・記念撮影

被爆クスノキ二世苗木植樹

1945年8月の被爆後、枯死寸前となるも蘇ったことから平和や再生のシンボルとして長崎市の天然記念物に指定されている山王神社の大クス二世の苗木を植樹します。

8/9(日)

●戦争証言シリーズ最新作「戦争証言2025」上映会

10:00～11:30

「戦争証言2025」が3月に完成。6名の貴重な体験談を収録した本作をノーカットで上映します。

出演者：小門義男さん、前田千代子さん、森野久章さん、柿本多映さん、池田宏さん、野村泉一さん

●映画「実写版　はだしのゲン」上映会 ※事前予約制（定員80名）

13:30～15:30

原爆の悲惨さ、恐ろしさを描き、大きな反響を呼び起こした世界的ベストセラー作品「はだしのゲン」(中沢啓治原作)の実写映画化。（1976年、監督：山田典吾、キャスト：三國連太郎・左幸子など）

●学芸員による「第39回企画展示『戦時下の看護』展示説明会」

15:40～16:10

6月27日から公開を開始した「第39回企画展示 『戦時下の看護』」。担当学芸員が解説を交えながら展示をご案内します。

8/11(火・祝)

●ボランティアグループ発表会

当館内外で活躍中の当館ボランティアグループの皆さんによる発表。当時の状況や人々の想い、戦争や平和・ 社会について知り、考えるきっかけづくりにご参加ください。

10:30～11:30 演劇グループ

子どもたちや女性の視点から戦争と平和を歌や朗読で綴る新企画にご期待ください。

12:00～13:30 戦時食再現グループ

沖縄で親しまれている家庭の味「ジューシー」。戦時中、人々の活力にもなった味を体験してください。

※ジューシー…豚肉の出汁などを使ってつくる炊き込みご飯。

13:40～14:40 手紙等解読グループ

戦中の兵士の手帖を読み解き、その思いを今につなぎます。今回の発表タイトルは「『つわもの手帖』を読む」です。

14:50～15:50 平和塾・つなぎ人

戦役時代のトラウマ体験を抱える元兵士等を事例に「戦後の元兵士と共同体」について紹介します。

8/15(土)

●映画「島守の塔」上映会 ※事前予約制（定員80名）

10:00～12:10

＜あらすじ＞

「鉄の暴風」と呼ばれた激しい空襲や艦砲射撃、そして上陸戦により、約20万人が犠牲となった太平洋戦争末期の沖縄戦。絶望の淵に立たされながらも「命こそ宝」と訴え後世に希望を託した2人の人物と、戦争に翻弄される沖縄の人々の姿を描き出す。（2022年、監督：五十嵐匠、キャスト：萩原聖人・村上淳・吉岡里帆ほか）

●卒業論文成果発表

13:00～13:30

当館を題材に卒業論文「滋賀県平和祈念館の役割と課題」を書かれ、令和8年３月に大学を御卒業された麻中要さんに卒業論文の紹介と成果について発表していただきます。

●平和学習講座「沖縄における社会運動の歴史から反戦の実践を学びなおす」

13:30～16:00

（講師：滋賀県立大学人間文化学部　教授　大野　光明氏）

戦争に反対し、軍事化に抵抗するとはどのような実践を指すのでしょうか。また、それらの実践において「歴史を学ぶ」ことはどのような意味をもつのでしょうか。沖縄の軍事基地問題をめぐる社会運動史を研究している大野先生をお招きし、沖縄戦から現在までの「戦後」史、なかでも人びとの脱軍事化のとりくみの歴史をたどりながら考えます。

8/16(日)

●映画（アニメ）「かんからさんしん」上映会 ※事前予約制（定員80名）

10:00～11:20

＜あらすじ＞

太平洋戦争末期、沖縄一津堅島。敵に包囲された島で、逃げ場を失った住民たちが最後を覚悟したその時…。「生きる」ことの意味をサンシンにのせて唄う人々と沖縄戦の悲惨さを鮮明に描いたアニメーション映画。（1989年、監督：小林治）

●映画「戦雲（いくさふむ）」上映会&三上智恵監督トークイベント

13:00～16:00 ※事前予約制（定員100名）

※会場は、愛東コミュニティセンター　大ホールです。

（当館と同敷地内　※位置:8/8の頁参照。）

©2024『戦雲』製作委員会

＜作品紹介＞

三上智恵監督が2015年から8年間にわたり沖縄本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島などをめぐって取材を続け、迫りくる戦争の脅威に警鐘を鳴らすとともに、過酷な歴史と豊かな自然に恵まれた人々のかけがえのない暮らしや祭りを鮮やかに映し出す。

監督：三上　智恵（みかみ　ちえ）氏

ジャーナリスト、映画監督。

毎日放送・琉球朝日放送でキャスターを務めながら多数のドキュメンタリーを制作。初監督作『標的の村』でキネマ旬報ベストテン文化映画部門第1位の他18の賞を受賞。

2014年フリー転身後に『戦場ぬ止み（いくさばぬとぅどぅみ）』、『標的の島風（かじ）かたか』、『沖縄スパイ戦史』、2024年に最新作『戦雲（いくさふむ）』を劇場公開。

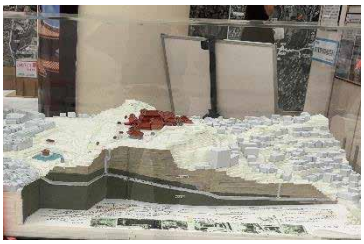
米軍基地問題や自衛隊のミサイル基地建設で要塞化が進む南西諸島の現状に警鐘を鳴らすだけでなく、人々の暮らし、自然との繋がりや信仰など民俗学的視点から描く。

「証言　沖縄スパイ戦史」（集英社新書）ではJCJ賞、城山三郎賞、石橋湛山早稲田ジャーナリズム大賞を受ける。新刊「戦雲　要塞化する沖縄、島々の記録」（集英社新書）。

期間中、毎日開催　※休館日（8/10（月））を除く

●沖縄−第32軍司令部壕再現模型展示・解説会

太平洋戦争末期、沖縄戦に備えて編成された日本軍第32軍が首里城地下に司令部を置き、戦闘を指揮しました。全長約400mにも及ぶ司令部壕内部はどのようになっていたのか。福村俊治氏（滋賀県出身―teamDREAM代表取締役、一級建築士）が作成された壕の全体像や内部までを再現した模型展示・解説会（第32軍司令部壕の保存・公開を求める会）を期間限定で開催します。



▲司令部壕位置模型（1/500スケール）

●親子で参加できるチャレンジ企画も実施

●体感してクイズに挑戦「背嚢（はいのう）の重さクイズ」

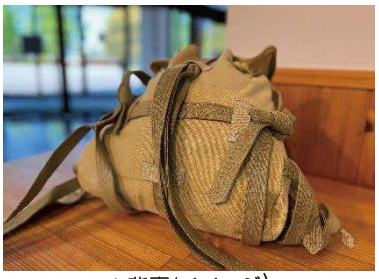
※背嚢（はいのう）…戦時中、戦地で兵士が背負っていた荷物入れ（かばん）のこと

●何問正解できるかな？ワークシートに挑戦

●平和を願う「ピースメッセージカード」

●平和の燈（ともしび）「あんどん」づくり

期間中、「背嚢の重さクイズ」または「ワークシート」に挑戦・正解すると先着100名様にオリジナルグッズをプレゼント（各企画ひとり１回まで）。



▲背嚢（イメージ）

▲あんどん（イメージ）

※各映画上映会の参加は事前予約が必要です。

8月1日（土）9:30から一斉に予約受付を開始します。来館または電話でお申し込みください。
（予約電話番号　0749-46-0300）
※定員に達し次第、受付を終了します。

番号	上映日時	場　所	タイトル
1	8月8日（土）10:00～	愛東コミュニティセンター大ホール	長崎−閃光の影で−
2	8月9日（日）13:30～	当館研修室	はだしのゲン（実写版）
3	8月15日（土）10:00～	当館研修室	島守の塔
4	8月16日（日）10:00～	当館研修室	かんからさんしん（アニメ）
5	8月16日（日）13:00～	愛東コミュニティセンター大ホール	戦雲（いくさふむ） ※上映後、監督トークイベントあり

（きりとり）

ピースメッセージ

滋賀県平和祈念館

（きりとり）

＊「ピースメッセージ」カードとは＊

滋賀県平和祈念館では、誰もが平和への願いを表現できる「平和への願いピースメッセージボード」を新たに設置しました。左の「ピースメッセージカード」にあなたの平和への願いを書いて当館へお越しください。

【問合せ・申込み先】
滋賀県平和祈念館
〒527-0157
滋賀県東近江市下中野町４３１番地
☎ ０７４９−４６−０３００
Mail heiwa@pref.shiga.lg.jp
※休館日（祝日を除く月・火曜日）を除く9:00～17:00まで

※駐車場の利用について
駐車場は他施設との共有です。当館側への駐車に御協力ください。満車時は当館裏駐車場または支所駐車場へ駐車してください。